

血液検査結果の見方

特定医療法人社団松愛会 松田病院

	項目	検査でわかること	
血液系	WBC (白血球)	種々の感染症、炎症性疾患等で増加が認められる	
	RBC (赤血球) Hb (血色素) Ht (ヘマトクリット)	赤血球・血色素・ヘマトクリットはいずれも貧血の時、減少する。	
	MCV	平均赤血球容積 (サイズ)	
	MCH	赤血球 1 個に含まれる血色素量	
	MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	
	血小板	血小板が減少すると、止血能力が低下する	
	凝固系	出血時間 PT 時間(プロトロン時間) PT 活性値 INR APTT(トロンボプラスチン時間)	皮膚に小さな切創を作り、出血が自然に止まるまでの時間を測定する。 これらが延長していると血液が固まりにくい。 止血の異常がわかる。
肝機能検査		GOT (AST) GPT (ALT)	肝炎・脂肪肝などの肝疾患や胆のう炎・胆管結石などの胆道疾患で上昇する。心筋梗塞やうっ血性心不全・筋肉疾患等でも上昇する。
		LDH	肝炎・心筋梗塞・血液疾患・悪性腫瘍など多岐にわたる疾患で上昇する
		ALP (アルカリフォスファターゼ)	肝臓・胆道疾患や骨疾患等で上昇する。
		γ-GTP LAP	肝炎・肝硬変・脂肪肝等で上昇する。特にγ-GTPはアルコール性肝障害では特異的な上昇を示す。
	TTT ZTT	肝硬変・慢性活動性肝炎・膠原病等で上昇する	
	T-Bil (総ビリルビン)	肝疾患・溶血性貧血・黄疸等で上昇する	
	chE (コリンエステラーゼ)	肝臓の予備能力や全身の栄養状況を知るための検査	
	循環器	T-Chol (総コレステロール)	血中の脂肪。多すぎると動脈硬化をおこし心筋梗塞・脳梗塞などの原因となる。
TG (中性脂肪)		動脈硬化に関係があり、糖質の摂りすぎ、アルコール過飲等で増加する	
HDL コレステロール		善玉コレステロールと呼ばれ血管壁についた脂肪を抜き取る働きをする。	
TP (総蛋白)		栄養状態が悪いと低下する	
腎機能	UA (尿酸)	高尿酸血症となると痛風の原因となる。	
	CRE (血清クレアチニン) BUN (尿素窒素)	腎機能障害や脱水症などで増加する。	
糖尿病	血糖	糖尿病の診断や治療効果の判定に用いられる。	
	HbA1c	過去 1 ヶ月の血糖状態を調べる。	
	フルクトサミン	過去 2 週間の血糖状態を調べる。	
	インスリン	ブドウ糖の負荷試験、糖尿病の診断に役立つ	
電解質	Na (ナトリウム) K (カリウム) Cl (クロール)	体内代謝のバランスが崩れると異常値になる 腎臓、副腎の病気・嘔吐・下痢・利尿剤などで異常になりやすい。	
	感染症	RPR 定性 TPAb	梅毒
		HBS 抗原 インデックス	B 型肝炎、その指標
HCV 抗体 index		C 型肝炎、その指標	
HIV 抗体		エイズ	
その他	AMY (アミラーゼ)	すい炎・流行性耳下腺炎などの時に、異常値がでる。	
	CRP	炎症が起きているときに上昇する。	
	CPK (クレアチンホスファターゼ)	心筋梗塞のときに異常値がでる。また、急激な運動後にも上昇することがある。	